

提出 2008 年 8 月 21 日

## 会合議事録

研究会名：X線スペクトロスコープ利用研究会

日 時：2008 年 8 月 6 日

場 所：イーグレ姫路

出席者：(議事録記載者に下線)

(研究会メンバー) 宇留賀朋哉、田中庸裕、林 久史、渡辺 巖、宮永 崇史、山本 孝、  
寺田靖子、高橋嘉夫、谷田 肇、奥村 和  
その他に、メンバー以外の出席者約 40 名

計約 50 名

### 議題：

1. 施設紹介 (SPring-8 X線スペクトロスコープのビームラインの現状)
2. 利用者からの声 (事前調査) の紹介と施設側からの回答
3. 会場からの質問と議論

\* 1, 2 は添付資料に詳細があります。

### 議事内容：

施設紹介の後で、事前調査で得た以下のユーザーの声を紹介し、施設側からの回答を頂いた。回答は、添付の宇留賀朋哉氏からの「施設報告」のファイル中にあるので、そちらを参照頂きたい。

#### 事前調査のユーザーの声

1. 実験課題の採用を半年ものだけではなく PF のように複数年採用ということはできないのか？
2. In situ XAFS について、ボンベの購入や管理方法や、どういった in situ セルが常備されているのか、といったことについて、何らかのアナウンスがあっても良い。
3. BL37XU の今後の整備方針は？
4. 現在の BL28B2 及び BL40XU の整備状況と住み分けの内容を教えてください。
5. BL28B2 においては現在のところ核種を変更するにはかなりの時間をかける必要があるが光学系をゴニオメーターに乗せる等の計画はあるのか？また、現在のところ測定、積算、解析がそれぞれ別のソフトであるがこれを一本化する計画はあるか？
6. BL01B1 では、Igor 用のデータ解析ソフトが用意されているが、複数あり分かりにくい場合がある。

\*この他、施設報告で紹介のあった BL01B1 での 19 素子半導体検出器のデジタルデータ処理システム xMAP に関する質問などが参加者からあり、議論を行った。